

海外進学をめざす 高校生へのメッセージ

後輩の皆さんへ

伝えたいアドバイスをまとめました！

生活面

マレーシアは多民族国家で、一国の中にマレー系、中華系、インド系などさまざまな文化が共存しています。この多様性は日常生活の中でも強く感じられ、宗教や食習慣の違いに配慮する意識が自然と身につきます。現地の人々はとてもフレンドリーで、英語が共通語として広く使われているため、基本的な英語ができれば困ることは少ないです。

また、日本との大きな違いとして「時間管理の感覚」があります。マレーシアでは予定の開始時刻が柔軟で、数分から数十分遅れることも珍しくありません。そのため、最初は戸惑うかもしれませんが、次第にこの「時間に対するおおらかさ」も含めて現地文化に適応できるようになります。ただし、留学生としての責任を果たすためには、自分自身で計画的に行動し、授業や課題の締切りはきちんと守る必要があります。

学業面

日本の授業スタイルとは大きく異なり、こちらでは「グループワーク」が多く取り入れられています。ディスカッションや共同プレゼンテーションが授業の中心となるため、他人との協力や意見のすり合わせ、役割分担などが日常的に求められます。コミュニケーション能力やリーダーシップ力を鍛える良い機会です。

さらに、多くの授業では「実際の企業」をケーススタディとして取り上げ、実践的な課題に取り組むスタイルが一般的です。例えば、企業のマーケティング戦略の分析を行ったり、実際の社会問題に対する解決策をグループで提案することもあります。こうした経験は、将来のキャリアに直結する知識や考え方を養う上で非常に有益です。英語での授業に関しては、アカデミックな語彙や論文の書き方、プレゼンテーション能力が求められます。入学前に基礎的な英語力を固めることはもちろん、渡航後も継続的に学習を続ける意識が重要です。授業中の質問や意見発表も積極的に行う姿勢が評価されるため、「わからないことを恥ずかしがらない」こともポイントです。

精神面

留学生活の中で孤独や不安を感じる瞬間もあるかもしれませんが、そんな時は同じ立場の留学生仲間と話したり、家族に電話をかけたりして、自分一人で抱え込まないことが大切です。

マレーシアでの留学生活は、学問的な成長だけでなく、人間としての幅も広げてくれる素晴らしい経験です。新しい環境を恐れず、好奇心と柔軟性を持って臨めば、きっと実り多い留学生活になるでしょう。後輩の皆さんの挑戦を心より応援しています。



おおさかグローバル塾

2023年度修了生

汐見 航太郎さん

Taylor's University (マレーシア)